

「3000m化をめざす」と暴言

暫定滑走路
でNAA

黒野社長の身勝手とデタラメ

空港会社の黒野社長は、11月1日の交通政策審議会で暫定滑走路について「3000メートルをめざす」と発言しました（11月2日読売新聞Ⅱ左）。北進を強行した上に南にも伸ばしたいというのです。

何という住民不在、農民無視の発言でしょう。南には東峰部落があり、

農民とその家族が「この地で農業をつづけたい」「北延伸を受け入れられない」と言っているらしいです。

つい先日まで「一方的な空港建設の非を謝罪する」と何度もうびてきた黒野社長が手のひらを返したように、今

確約していました。この約束はどこに行ったのでしょうか。「3000メートル」発言はこれらのすべてをホゴにするとんでもない暴言です。

手の平返したように

度は強引に農家を追い出すと迫っています。許されることではありません。

しかも黒野社長は2年前、北部騒音下の住民の抗議に対して「計画どおり南に延伸できるようにしたら北延伸した滑走路は元に戻します」と

せん。今ある連絡誘導路も一方通行にするためここでも渋滞します。

北に伸ばしても便数はさほど増えないのです。

外国航空会社は「この程度の増便に360億円も使うとは信じられない」とあきれています（9月17日朝日新聞）。使いものにならない北延伸計画にばく大な予算をかけて、天神峰、東峰地区住民、北部騒音下の住民に、非人間的な騒音地獄を強制して造る意味がいったいあるでしょうか。

北伸すぐ中止すべき

私たち反対同盟は、住民不在の北延伸工事にあくまで反対し、その中止を求めます。

クリーンパークの違法な転用も大問題です。北延伸阻止は今からでもできます。ともに力を合わよう。

成田の3000メートル化目指す

空港社長、国交省で改めて発言

成田国際空港会社の黒野匡彦社長は1日、国土交通省で開かれた交通政策審議会航空分科会で北延伸工事が進められている暫定平行滑走路について「国民のためにも3000メートル化を目指したい」と述べ、将来的に本来計画の南側に延伸したいとの考えを改めて示した。航空分科会は成田、中部、



約束を何度破れば気がすむのか！